



Big Brothers
&
Sisters Movement

—日—一—本—B—B—S—連—盟—機—關—紙—

ともだち

Vol.191

2012

(H24年)

6月

発行：日本BBS連盟事務局

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-10-9 更生保護会館内 TEL 03(3356)7383 FAX 03(3356)7610



昨年6月実施した
函館連盟函館地区
バームクーヘン作り



* * * もくじ * * *

- | | |
|------------------|-------|
| ・協議員会 | 2-4 |
| ・ともだち活動 fromあいち | 5 |
| ・北から南から | 6-7 |
| ・グループ活動 fromいばらき | 8 |
| ・皆さんこんにちは | 9 |
| ・BBSにエール！！ | 10 |
| ・無尽灯・お知らせのページ | 11-12 |

平成24年度 協議員会 開催報告

■期日：平成24年5月26日(土)～27日(日)

■会場：オリンピック記念青少年総合センター センター棟311号室

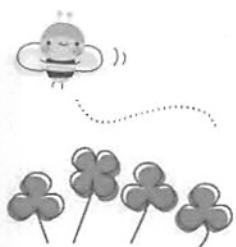
■内容

- (1)日本BBS連盟会長挨拶
- (2)法務省保護局長挨拶
- (3)オリエンテーション
- (4)議長および書記の選任(議長:地連理事、書記:日B常務理事)
- (5)協議

- *1号議案 平成23年度事業報告
- *2号議案 平成23年度一般・特別各会計収支決算報告
- *3号議案 監査報告
- *4号議案 平成24年度活動予定(案)
- *5号議案 平成24年度一般・特別各会計収支予算(案)
- *6号議案 役員の改選(常務理事)
- *7号議案 協議員等からの提案事項

(6)報告等

- *24年度こども・みらい・サポート事業進捗状況報告・25年度事業について



各議案の主な内容

1号 議案

こども・みらい・サポート事業(山口)、モデル活動(16団体にて実施)、各種情報発信(機関紙「ともだち」の発行、更生保護誌・メールによる情報発信、「大学のBBS」第2版発行等)、関係機関・団体との幅広い連携、「第61回社会を明るくする運動」への参加協力、東日本大震災及び原発事故被災会員への義援金、第63回BBS大会の開催、各種表彰、地連研修への助成、5地区会の新規発足、東日本大震災及び原発事故に関する特別事業(12団体で実施、100万円助成)、日B役員の活動、研修、会議等の実施報告

2号 議案

・資料の補足説明、質疑応答

3号 議案

・23年度の活動報告、一般会計・特別会計収支いずれも正確である旨、監事より報告

4号 議案

・24年度の日本BBS連盟、各地方連盟主催行事一覧

5号 議案

・従来の活動に加え、引き続き東日本大震災・原発事故に関する特別事業を実施(被災者へのボランティア活動への助成)(⇒詳細はp.5「活動予定(抄)」参照)

6号 議案

・役員改選(案)の承認(常務理事・事務局長の交代)

7号 議案

・印刷物への日BホームページQR添付(旭川)、BBS会員の日本更生保護学会への加入(和歌山)、「ともだち」「更生保護」誌に関する調査

報告

・24年度:近畿地方、滋賀県琵琶湖畔にて実施(いかだづくり・よし笛づくり)

・25年度:東北地方、白神山地への登山等の検討



その他、保護局から「各観察所による新人研修」「社会貢献活動」等に関する連絡事項

平成24年度 活動予定（抄）



（運動方針）

BBS運動の更なる活発化、地区会の活性化及び会員の増加、協議員会や中央研修の充実、地区会・都府県連・地方連盟・日本BBS連盟の連携の強化などを図るための諸施策を実施する。

（重点施策と事業計画）

- 1 地方連盟・都府県連盟との緊密な連携の下に、地区BBS会の活動を支援する施策を推進する。
 - (1)日立みらい財団の助成を受けて、「こども・みらい・サポート事業」を近畿地方BBS連盟・滋賀県において実施する。
 - (2)日立みらい財団の助成を受け、BBS運動の活性化に資するモデル活動を17団体で実施する。
 - (3)全国のBBS運動に関する情報の収集とその全国への発信を推進する。
 - (あ)更生保護事業振興財団の助成を受けて、機関誌「ともだち」を年4回発行する。
 - (い)ホームページを積極的に活用する。
 - (う)「更生保護」誌のBBS通信に、全国の地区会活動の掲載を継続する。
 - (え)全国の大学、特に福祉系の大学を対象に、BBS運動を広報する。会員拡大のための「メッセージ」と「大学のBBS」の冊子を積極的に活用する。
 - (お)各種メディアの取材に、積極的に協力する。
 - (4)関係機関・団体に対し、機関誌等広報資料の提供、会合・行事への出席・参加協力をを行い、連携強化に努める。
 - (5)国際交流事業の紹介斡旋を行い、国際交流を推進する。
 - (6)BBS会員のOB・OGの組織化に協力する。
- 2 「第62回社会を明るくする運動」に対し、積極的に参加協力する。
- 3 財政基盤の確立に努力を継続する。
 - (1)機関誌を通じて、支援者を求める。
 - (2)指定寄付者、賛助会員の維持・増加に努める。
- 4 保護司会等更生保護関係団体に、新たな地区会の組織化、会員の増強等の働きかけを行う



（その他の施策）

- 1 第64回全国BBS大会（法務大臣感謝状贈呈式）
10月29日(月)法務省において贈呈式を行う。被受章者と保護局職員との協議の場を持つ。

2 会長表彰

役員が地連研修会等に出席し授与する。

従来の表彰とは別に単年度の活動を中心とした会長特別表彰を実施する。

3 中央研修会

*中央研修Ⅰ 10月6日(土)、7日(日)、主として地区会長を対象に実施する。

*中央研修Ⅱ 9月22日(土)、23日(日)、各地連から2名の学生BBS会員を集め、「学生BBS会員全国研修会準備会」を実施する。

- 4-6 保護観察所で実施する新人研修、地連単位で実施する研修、保護観察所で試行される社会貢献活動並びに従来からの社会参加活動に積極的に協力する。

- 7 地方連盟の大会・研修会に対する役員の派遣、講師の紹介・斡旋に努める。

- 8 地区会の新規発足や再発足を促進し、発足した地区会を支援する。

- 9 法務省保護局が実施する調査とは別に、当連盟として、全国の状況の調査を実施する。
「更生保護」誌の確実な送付先を確認する。調査項目の合理化を引き続き検討する。

- 10 研修の在り方についての検討を続ける。

- 11 23年度に続き、東日本大震災及び原発事故に関する特別事業として被災者へのボランティア活動を実施し、活動経費の助成を行う。

- 12 残部に応じたグッズの作成、希望に応じた新しいグッズの製品化検討を隨時行う



平成24年度 日本BBS連盟役員名簿

| 役職 | 氏名 | 役職 | 氏名 |
|---------|--------|--------|---------|
| 会長 | 馬場 義宣 | 理事(四国) | ★大崎 朋子 |
| 副会長 | 田中 燐一 | (九州) | 梅野 哲史 |
| | 原田 吉信 | 常務理事 | 畔上 信康 |
| 理事(北海道) | 小木曾 孝司 | | 柴香里 |
| (東北) | 向谷地 正彦 | | 橋本万由子 |
| (東北) | 高塚 教晴 | (事務局長) | ★長谷川 正光 |
| (中部) | 伊藤 潤一郎 | | 茂呂 雅之 |
| (近畿) | 車谷 憲隆 | | 桑原 明 |
| (中国) | 花之木 憲一 | 監事 | 石井 啓吾 |

※ ★ : 今年度からの新任役員、それ以外は23年度に引き続き継続

新任役員の紹介

学生時代にBBSに出会い、その頃には思つても見なかつた大役を今回させて頂くことになりました。皆さんともと素敵なBBS活動を目指して行きたいたいです。
よろしくお願ひします！

大崎 朋子
四国地方BBS連盟(高知県)

地連
理事

今年3月、出身地の北海道委員会を退職。
大昔、札幌で3年間BBS会員でした。
よろしくお願ひします！

長谷川 正光
日本BBS連盟 事務局長

常務
理事

[新設] 日本BBS連盟会長特別表彰のご紹介

今年度より、単年度で活躍した会員も表彰できるように、従来の表彰に加え、「**日本BBS連盟会長特別表彰**」を新設しました！！

従来の表彰は、一定年数以上BBS会員を継続し、且つ相応の活躍が認められる方しか表彰の対象になっておりませんでしたが、「会員歴とは無関係に、単年度の活躍等を表彰できるような制度を作つてもよいのでは？」という提案があり、今年度より新たな試みとしてスタートしたものです。

各都道府県連役員のみなさん！

ぜひ、各地の元気な会員を発掘 & cheer up してください☆

まさに今元気にがんばっている会員のみなさん！

この表彰等を通じて全国に名をとどろかせてください☆

全国各地から元気な声があがることを楽しみにしています♪♪



私達のBBS会は、様々な機関(保護観察所、家庭裁判所、非行の親の会、弁護士等)から依頼を受けてともだち活動をしています。

私がともだち活動で関わった少年とは、1年半ほど前に出会いました。最初は定時制高校受験のための学習支援という形で関わりました。彼が高校へ進学してからは、定期的に会つて互いの話をしました。

この1年半の間、といつても、私が見てきた彼はほんの一部に過ぎませんが、その中で大きく変わったなど改めて感じた出来事がありました。それは、今年の2月に南保護区BBS会で行ったグループ活動の一環であるチョコ作りでした。昨年も、同じチョコ作りに彼と参加しました。1年前は、他のBBS会員に戸惑う部分もあったせいか、お昼休憩のときにみんなで話している場で、彼は1人イヤホンをして音楽を聴き始めてしまいました。そのときの彼の心境はわかりませんが、どうしたらしいかわからなかったのかなと思っていました。

そのとき以外は、笑顔で他の会員とも少しずつ話して距離を縮めていました。



そんな彼が今年のチョコ作りで見せた、他の会員と喋っているときの笑顔は1年前のものとは全然違いました。その際に、同じくチョコ作りに参加していた少年にこれからのことについてアドバイスを求められました。その少年は1年前の彼と同じく、高校受験を控えており、これからアルバイトと勉強をどう両立してやっていけばいいのか等、不安な気持ちを抱えているとのことでした。その少年に対して、「大丈夫」「なにか聞きたいことがあつたら、いつでも聞いてね」と声を掛けていました。

その後、彼と話をしていると、自分(彼)は1年前、周りに同じような経験者がいなくて話を聞けなかつたけれど、今は自分が経験者として相談にのることができるという内容の話をしてくれました。また、彼は「僕は夢や目標があるから頑張れた。なかつたら、

きっとこんなに頑張れないですよね。」とも言っていました。



彼と関わる中で、私が彼の力になれたことはほんの少しかもしれませんが、学習支援を通して、“私は力になるよ、味方だよ、大丈夫”という気持ちと一緒に勉強をしていましたし、ときにはまっすぐそういう思いを伝えたこともあります。

彼は不安で諦めそうになったり、寂しく感じたりすることがたくさんあったと思います。今もアルバイト先や学校で、楽しい、辛い、たくさんのことを感じていると思います。けれど今の彼には友人や先輩等、様々な人とのつながりがあります。ともだち活動にはそうした人のつながりを広げる第一歩の足がかりになれる可能性があると、今になって感じます。

保護観察が解除された日の「ここからがスタート」という彼の言葉に、強い印象を受けました。

彼は今「BBSに入りたい」という気持ちが湧いてきています。彼が経験者としてこれから様々な少年と出会い、耳を傾ける存在になり、他のBBS会員と一緒にになって少年達を支えてくれることを私も、願います。彼と出会えてよかつたと感じる人が、きっと私の他にもたくさん増えることでしょう。





～台風12号でのBBSの活動について～



今回は、東日本大震災から半年後の昨年9月、台風12号で甚大な被害を受けた和歌山県の被災地に赴き、炊き出しボランティア活動を行った高野山BBS会が運営する仕出し弁当店「コミュニティランチ和(なごみ)」(非行や不登校・引きこもり青年の就労支援店)の奮闘談です。

【Speaker】 ①大江隆之さん（高野山BBS会長・「和」店長） ②金田郁子さん（和歌山市BBS会員 会員歴6年） ③高垣晴夫さん（和歌山県BBS連盟会長）

高垣

和歌山県BBS連盟は県社協の災害ボランティアセンターに、炊き出しと通信で活動ができると登録をしているんですわ。で、去年の9月、紀伊半島を襲った台風で、ボランティアの募集と炊き出しとなり。

ボランティア募集に関しては、奈良、三重、和歌山のBBS連盟会長の連名で、日本BBS連盟を通じて全国のボランティアに呼びかけました。もう一つ炊き出しお方は、日高川町の災害対策本部に行き直接協議。これは高野山BBS会のお弁当店「和」の担当。店長の大江さんから…。

大江

はい。高野山BBS会には1回で500人分炊ける重さ100キロの回転釜が有って、名前の由来は、鍋を持ち上げて中身を出すなんて事ができない物だから、ハンドルが着いていてそれを回して鍋を斜めに傾ける仕掛けが着いている。そこから来ています。で、回転釜は、一気に調理ができるし、煮物、炒め物、揚げ物、蒸し物何でもOK。凄い便利だけれどその分使い方にコツがいる。でもこういう災害の炊き出しなんかにはうつつけなんで持ち込みたかったけれど、何と、今回の日高川町保健センターの調理室は狭くて入らない！で、これはあきらめ、こちらからの持込と調理室の器具をフル活用。炊き出しには全部で6回行きました。「和」の休みの日に。朝3時に出かけて夕方5時に帰ってくる生活。

僕らは勿論、インターンシップで来ている人も、わかやまNPOセンターや、熊野古道を世界遺産に登録するプロジェクト準備会のメンバーや等も加わってくれ、「和」出入りの業者さんは食材提供してくれたりと。みんな一緒にやった感じやね。

高垣

「和」で働いている人の構成は？

大江

僕が店長で、他に運営に関わっている人が二人。内一人もBBS会員。アルバイトが常時6人。それから就労支援の研修の場として一緒に働く人がいる。これまでに全部で100人を超える人を受け入れて、2割弱の子が卒業したっていうかステップアップして出て行った。進学した子もいれば、福祉の世界でヘルパーになった子もいる。調理師になって、あっという間に調理業界のチェーン店の幹部になった人もいれば、進学したり、契約社員で働いている子もいる。でも勿論また、戻ってくる子もいる。その子らも一緒になって今度の炊き出しは頑張った。

高垣

炊き出しの現場の環境は？



大江

洪水の汚泥で、ハ工は一気に増えるし、道具はないしで、そもそも簡単な調理室だから大量の食事を作る構造になつてない。結構悪戦苦闘した。食中毒出したら話しになんないですから。あと一人二人手がほしくって…。

高垣

それで、金田さんにも行っていただいたんですね。

金田

朝だか夜中だかとにかく午前 2 時頃起きる生活でしたけれど、誘っていただき私は嬉しかったです。大江さんから話を聞いたときには私にもできるのかなと思いつつ、思わず「行かせていただきます」と言ってしまって…。裏方で食器洗ったりとかしました。

大江

あのときは助かりました。お弁当の配達は役場や社協の職員の担当で、僕らは被災者と直接会うことはなかったんですよね。



でも、ある朝調理室に入ったら、壁になんか紙が貼つてある。近づいてみると、被災者からの「美味しいお弁当をありがとうございます。凄く楽しみにしています」という手紙だった。ものすごく嬉しい。もうこっちが癒される。みんなで喜び合った。

高垣

この活動をするために、東日本大震災のときに和歌山の NPO 団体や BBS なんか 5, 6 の団体が提案して立ち上げた「支える人を支えるネットワーク」からも 10 万円くらいの資金助成がもらえたんだよね。

大江

後方支援有り難かったです。

炊き出しボランティアの最後の日、地元の人たちがこれからは自分たちでという気持ちになって下さっているので、福島県の郷土料理「わっぱ飯」をメニューにしました。



「わっぱ飯」は新潟なんかもあるんだけど、薄い板を丸く曲げて器にした曲げわっぱのなかに、薄口のだしで炊いたご飯と具材を乗せて蒸し上げる。ふたを開けると出汁と具材の香りがふわ~と漂って、めちゃうまい。「和」で作ったのは、プリントしたわっぱ容器に、出汁で炊いたご飯、その上に別々に煮た海老、ホタテ、イカ、等の魚介類、野菜は竹の子、しいたけ、わらび、ぜんまいもあったかな。それにかまぼこも。

福島で頑張っている人たちがいるということ、「和」も、日高川の人も、福島の人も、BBS も、支える人を支えるネットワークに参加してくれた団体の人も、非行のある人もない人も、みんなが支え合っていけたら…の願いを込めて。





茨城県日立地区BBS会 野村通洋

日立地区BBS会主催で行っている「万春園」での社会参加活動を紹介します。

この活動は、「ともだち活動」の時、少年がこの活動に参加することによって社会の役に立っている、自分も誰かの役に立っている事の実感と意識を持たせる事を目的として、平成8年、市内にある老人ホーム「万春園」で年3回、4ヶ月に1度、を目標に地区活動として始めました。発足当時の参加者は会員のみ平均3名程度で、「ともだち活動」もありませんでした。活動内容も施設の依頼で、窓ふきやぞうきん縫い、掃き掃除等毎回違った作業でした。車椅子掃除がメインになったのは2年位後です。当時は参加者が少なく、そして活動時間が限られていることもあり、施設内の車椅子約50台を1日で全部掃除することは不可能でした。そのため行くたびに食べこぼし汚れがひどい車椅子を掃除するのが大変な作業でした。それでも掃除が終わるたびに毎回「有り難う」と言葉をかけられ、喜んでもらえた姿を見ると私たちは心が洗われた気分になりました。少人数での地区会員だけでの活動が7~8年続き、この活動を継続するかで大激論を何度もしました。

私も先の見えない活動にほとんど心が折れかけていました。続けられたのは全地区会長Tさんの熱意と顧問のTさんの励ましと協力があったからです。



流れが変わったのは当時BBS運動、地区活動に理解のあった観察官が地区担当、社会参加活動担当になったことと、日立市更生保護女性会が(以後更女と記す)BBS支援の一環として試験的に参加協力をした事です。当時保護司でもあった更女の方が受け持っていた子を参加させたところ、表情、態度も改善され良い結果と高評価。これを受けて観察所も試験的に少年を参加させたところこれも良い結果に。これを受けて腰の重かった観察所、更女、保護司も積極的に関わるようになり、とんとん拍子に活動が軌道に乗り始めました。現在では地区活動の柱として成長し、年6回、奇数月の最終日曜日に施設利用者の車椅子清掃を利用者と会話をしながら行っています。参加者は平均15名にも増え、BBS会員、観察所、少年、保護司、更女が参加をしています。更女に関しては県北ブロック(日立、東海、ひたちなか、常陸太田、大子、高萩、北茨城の7地区)として日立を除いて2地区ずつ(1地区2名)交代で参加していただいている。

長年継続して行ってきたので施設との信頼関係が出来ていた事。また、施設利用者とも顔見知りになっていたことも活動活性化の大きな要因として挙げられます。少年が参加するようになってからは作業終了後に近くのファミリーレストランで皆で食事を取って解散しています。このために少年との接触時間が長く保てますので良いコミュニケーションの場となっています。この食事時間がとても良いのか、また活動に参加したい。と言って2度、3度と自ら志望して参加する少年も多い状態となっています。



平成23年9月から、観察所の依頼で20歳以上を対象にした社会貢献活動も一緒に合わせて試験的に実施しています。

皆さんこんにちは（新地区会）



平成23年度は総計8地区(学域)のBBS会が誕生。昨年6月に発足した岡山県連の美作大学BBS会、沖縄県連の宮古地区BBS会は本紙188号で紹介しましたので、今回はその後に発足した6つの地区会が一挙登場です！

南陽BBS会(山形県)

【発足日】平成23年9月3日(14名)

保護司会と連携しながらグループワークを開催し、ともだち活動につなげたいです。また保護司会や更生保護女性会と協力して地域活動に努めたいです。



田園調布学園大学BBS会 (神奈川県)

【発足日】平成23年10月1日(13名)

福祉や保育専攻の大学で、子どもたちとさらに関わるきっかけ・子どもへ健全な遊びを伝えるきっかけとして発足しました。人と人とのつながりを大切にし、地域に根差した活動がしたいです。



由利本荘地区BBS会(秋田県)

【発足日】平成23年12月3日(5名)

地区内に県立大学が開校し、それをきっかけに発足しました。保護司会や更生保護女性会や秋田大学のBBS会員と連携しながら、地域の特色を活かした活動を行いたいです。



墨田区BBS会(東京都)

【発足日】平成24年3月11日(10名)

早稲田大学広域BBS会のOBの力で、区内や周辺地域の方々から賛同者が集まりました。城東地域での中心になれるような活動を行っていきたいです。



青森大学BBS会(青森県)

【発足日】平成24年3月23日(16名)

青森中央学院大学BBS会(青森県)

【発足日】平成24年3月23日(6名)

青森に2つの学域BBS会が発足しました。学域ということで、若い力の今後に期待です！



BBSに エール！！

心に明かりをともそう

福井市 児童館長 津田節江

生まれてきて60年、私は五体満足があたりまえでありがたいと思ったことがあまりない。その私が一人の少女、数馬友紀子さんに出会ったとき、つらいを通り越し頭を殴られたような気がした。今から4年前のことである。

きっかけは友人の見舞いに行った病院で、偶然出会った婦人(友紀子さんのお母様)が「娘がこの病院に入院していること、娘が生きる意味がわからなくなっていること」を問わず語りに話してくださったことである。それまで面識がなかったことを思えば不思議な縁である。友紀子さんは15歳にして脳幹出血という病に倒れ、寝たきり状態の人となってしまったという。私は彼女の病室に見舞いに行った。そして、冒頭の殴られたような衝撃を受けたのである。

友紀子さん(以下いつも呼ぶように「ゆっこちゃん」と記す。)は高校1年になったばかりで夢いっぱいの日々を送っていた。その矢先、部活中に事故が起き一瞬にして真っ暗闇の世界に落とされた。事態を受け入れられずに苦しむ彼女の姿に声もかけられないわたしがいた。

情けない自分に悶々としていたある日、私の心の中で誰かが叫ぶのである。「お前は何をしている。このままでいいのか。

」と。ゆっこちゃんは携帯を1本の指で押すことはできた。1本の指で何かができる。私はがむしゃらに彼女にアタックし始めた。

クレヨン、絵筆、毛筆、指などを使って絵や文字、言葉、詩、童話などを試してみた。それらの作品をとおしてみたとき、彼女の作品の裏側にある「負ける物か」「自分の人生に意味がほしい」という思いがひしひしと伝わり、思わず涙が出た。そして、1冊の絵本、詩画集ができたのである。さらに原画、原書展も開くことができた。

彼女、私、彼女の家族、協力して下さった方々の感動と喜びは言葉にならなかった。お世話になった方の中にBBS会員の伊藤潤一郎さんがおられ、「この本を東北で頑張っている子ども達に読んでもらったらどうですか」と言われたのである。それを聞いて、彼女の顔がぱっと光り輝いた。「何もできないと思っていた私でも誰かを元気づけることができるんだ」と。

私はBBSという言葉を初めて知り、伊藤さんから素晴らしい活動の様子をたくさん聞き、凄い人たちがこの日本の中に、私のすぐ近くにおられることに感動と脱帽だった。私は伊藤さんを通じて福井県BBS連盟と出会い、ゆっこちゃんの本は遙か東北の、受け入れ難い現実をたくましく生きぬく子ども達へのエールとなって届けられた。

ゆっこちゃんも私もこの事業に参加できることを深く感謝している。そしてすばらしい機会を与えてくださったBBSの人たちに感謝と大きなエールを送りたい。

(注釈) 津田節江さんは、中学の元校長先生。病院、介護施設などで自ら作成した紙芝居でボランティア活動している時、高校1年の部活中に脳幹出血で倒れた入院中の数馬友紀子さんと出会う。全身不随となりながらもかすかに動く1本の指で紡ぎ出された絵本、詩集「いっぽんゆび」の創作活動、編集を支援。作品の存在を知った福井県B連が、東日本大震災で被災した子どもたちに本詩集を送った縁で、津田さんからメッセージをいただきました。(日B連事務局)

無尽灯



筑波大学大学院人間総合科学研究院宮本信也教授の講演録「発達障害の理解」(注)から

- ・発達障害には、発達の遅れ、発達の偏り、発達の歪みの3つの要素がある。
- ・医学では、知的障害(精神遅滞)、広汎性発達障害(自閉的な状態をまとめたもの)、特異的発達障害(学習障害、コミュニケーション障害、運動技能障害)、注意欠陥多動性障害の4つに分類している。」

これを見ただけでは分からぬでしょう。講演録を読みましょう。発達障害のある人に接するときの留意点が、最後に述べられており、BBS会員の活動にも役立ちます。

(注)講演録は、本年度の協議員会において、各連盟に1冊配布しています。

※むじんとう【無尽灯】…私の教えが次々と伝わって尽きないことを、一つの灯火が無数の灯火になることに例えている語

お知らせのページ

4月21日～22日

本年度第1回理事会をオリセンで開催。
協議員会に向けての議題について、話し合
いました。

5月26日～27日

本年度の協議員会開催前後に第2回理事
会を前半後半に分けて開催しました。
後半の理事会では、協議員会の進め方等
についての反省や懸案事項について検討し
ました。

かねてから要望のありました日B
連のホームページに携帯からアク
セスできるように「QRコード」を
設けました。ご活用下さい。



急告!!

～東日本大震災、原発事故被災に関する助
成金申請について～

23年度に引き続いて本年度も被災地(者)
支援の特別事業として実施しています。助成
金の枠にまだ十分余裕がありますので、計画し
ている地区会は、是非、申請願います。

次の写真は、H24. 6. 16～17の両日、被
災地の岩手県釜石市で開催された東北地方
BBS大会・研修会の日に撮影したものです。
震災から1年3月、大会会場周辺の建物です。
骨組みが剥きだしたままなど、津波の爪痕が
いたる所に残されていました。



ご支援ご協力感謝

今年度も多くの方々から御支援が寄せられています。3月29日から6月20日までに助成金をお寄せくださった皆様のお名前を掲載させていただきます。BBS運動にお心を寄せていただき深く感謝いたします。(50音順)

ご寄付をいたいた方々

飯田英男様・石川達紘様・倉田靖司様
斎田国太郎様・中島義則様・馬場義宣様
松本弘道様・三谷紘様・安田哲也様

賛助会員

阿部映子様・荒井榮喜様・阿佐栄一様・池田等様
石川正晴様・今田嘉行様・岩井敬介様
岩田梅吉様・岩田昌司様・宇田川博通様
小野千賀子様・小畠哲夫様・柿澤正夫様
柿澤稔様・川本満隆様・木村克彦様・栗田啓二様
久保修様・黒澤実様・小林一志様・近藤金一様
近藤武男様・サトー印刷様・坂井文雄様
佐藤幸子様・澤村榮一様・志岐喜一郎様
下瀬正美様・須貝周司様・相馬仁禄様・田中實様
谷口継男様・谷口崇義様・田端優行様・千條武様
辻寿子様・土川博子様・富田泰子様
中島晴美様・野崎由美子様・能登秀子様
橋本詔子様・長谷川正光様・長谷川とも子様
馬場厚子様・馬場義博様・日比野照明様
福山勝義様・藤川勇三様・二川義孝様
細野康磨様・藤本信次様・本田光正様
松本勝様・松山石根様・望月公雄様
持田真生様・齋正勝様・森脇盛吉様
山田勘一様・山田純一様

会長の動き

- ～3月11日から6月30日まで～
- 3月15日 全国保護司連盟評議員会
3月28日 日本更生保護協会評議員会
4月14日 日B連監査立会
4月21～22日 日B連理事会
5月22日 全国就労支援事業者機構総会
5月26～27日 日B連理事会・協議員会
5月29日 日本更生保護協会評議員会
5月29日 ひたちみらい財団表敬
5月30日 全国保護司連盟評議員会
6月13日 日本更生保護女性の集い
6月16～17日 東北BBS大会・情報共有ワークショップ
6月30日 日B連常務理事会

BBS グッズ

BBS グッズ専用口座 (郵)00100-0-568002
地区会等代表者名で FAX で申し込んで下さい。
有償グッズは振込を申込と兼ねられます。
(振込料は申込者負担)

有償グッズ 送料日 B 負担

| | |
|------------------|-------|
| BBS バッジ | 700 円 |
| リーフレット(50枚セット) | 500 円 |
| ※クリアファイル(10枚セット) | 500 円 |

※は BBS ロゴ入りです

無償グッズ(送料着払い)

- 22年度モデル活動報告書
23年度中央研修結果報告書
基本原則解説書
「聞く」から「聴く」へ
ともだち活動をする皆さんへ

この機関紙の発行には共同募金の配分を受けています

編集後記



新年度が始まり新しい環境での生活にようやく慣れてきたという人がいれば、まだまだ新しい環境に悪戦苦闘している人もいるこの季節、皆様いかがお過ごしですか？編集員は今回から新たに1人加わり新体制でのスタートです。新しいといえば、今号では新たに発足した地区会を6つ紹介しています。既存の地区会の活動を紹介すると同時に、新たに動き始める地区会を全国のBBS会員に紹介できるということは嬉しいことです。今後もこの「ともだち」を通して全国の活動の様子をお伝えできればと思います。

(湯浅編集員：千葉県連盟)